

東毛広域幹線道路周辺の道路整備状況は

笠原 則孝 議員



Q 東毛広域幹線道路建設の進展を問う。

A 町長 東毛広域幹線道路は、平成26年度に暫定2車線での全線開通、ことしの6月には玉村町から高崎駅東口間が開通する予定である。この道路は、町の中央部を東西に横断する形で計画されてお

り、農地や生活道路、通学路の安全確保のため、交差点には信号機を設ける。また、歩道橋の設置等を県や関係機関へ要望する。さらに町では、与六分・前橋線の一部南側への延伸や、上之手線の整備、町道220号線の拡幅等、東毛広域幹線道路開通時にかわる道路利用形態に対応した道路づくりを進めていきたい。

Q 東毛広域幹線道路の開通に伴う、周辺道路の状況は。

A 町長 開通によってかわる道路利用対応形態に対応するため、県に対し、前橋南ICへのアクセス道路や藤岡大胡バイパスの整備要望を行っている。町では、川井の工業団地から箱石・下之宮を通る町道220号線。また、にしきの団地から国道354号まで行く町道212号線。さらに、上之手線の広域幹線道路から南に延伸した路線整備を予定している。

Q 町事業の入札について問う。

A 町長 平成21年度の入札及び随意契約は、327件あった。建設工事関係の入札は、21年度から電子入札を導入している。平成22年度の12月末までの件数は全体で284件となっている。



東毛広域幹線道路と藤岡大胡線バイパスの交差点付近

若者が住みつくまちづくりをめざして

村田 安男 議員



Q 人口減は、税収の落ち込みに直結する。第5次総合計画では、現人口の維持を目標としているが。

A 町長 新たな政策として、新規参入企業に対し、固定資産税減免などを行う。また354号バイパスに接続する道路の整備などを実施し、通勤通学の利便性を向上させたい。

Q 昨年、1年間に産まれた子どもの数が初めて300人を割ってしまった。また、地域的な格差も広がっているようだが。

A 町長 出産育児手当などを増額し、人口維持に努めたい。

Q 企業誘致政策も必要だが、若者が住みつくまちづくりをめざしてほしい。

A 町長 今後あらゆる角度から検討し、人口維持に努めたい。

Q 経営改革町民会議の提言に基づき、行政改革を進めているが、進捗状況は。

A 町長 取り組みがおこなわれているが、指定管理者制度導入の方向で進めていきたい。

Q 社会体育館、総合運動公園、東部工業団地内にある運動場などの民営化計画はどうなったか。

A 町長 指定管理者制



東部スポーツ広場公園

交通の利便性を生かした政策に期待

柳沢 浩一 議員



Q 北関東自動車道が3月19日に開通した。玉村町を横断する東毛広域幹線道路が平成26年度に完成すれば、格段に利便性が高まる。町にとって大きな期待ができるというが、逆に購買層、人口などが周辺に流れてしまうという可能性も高まるのではないか。

A 町長 そのような懸念もわかるが、住民に優しい多くの事業を充実させることによって、人と仕事の確保ができると考えている。

Q 本年秋には、若者にも人気がある大規模な商業施設が隣市に開店する。町商業者等への影響をどう考えるか。

A 町長 懸念はしているが、同時にその商業施設では600人の雇用がある。雇用の確保という可能性に大きな期待をし、前向きに考えたい。

Q 道の駅について聞く。昨年3月に提案があった以来、トーンダウンしているのではないか。つくるこ

とには賛成である。ただ、赤字が累積することのない健全経営の施設であることが条件だ。考えを問う。

A 町長 町としても、もちろん最も重要なことだと考えている。運営主体や品質のよい野菜をどのように集めるか、地域の中で人気のある商業者に出店してもらえるかなどを検討している。

Q 小中学校にエアコンを設置する考えはないか。

A 教育長 昨年の猛暑を受けて、何ができるか他市町の動向を踏まえて協議している。昨年のような猛暑が続くようであれば、設置を検討する。



前橋みなみモール

緊急避難場所等の周辺的安全確保を

石内 國雄 議員



Q 幼児・学校教育における、障害を持つ子どもたちへの取り組みは。

A 町長 必要に応じて介助員や補助員等を町費で配置し、特別支援教育の充実を図っている。

A 教育長 特別支援学校等の入学には保護者の承認が必要で、ない場

合は、学校でその子に合った対応をしている。

Q 南中学校にできる武道館を、町民へ開放する考えはないか。

A 町長 各学校の体育館や校庭等と同様に開放する。有効に活用していただきたい。

A 教育長 教育の施設と考慮しており、多機能に運用し、集会にも使用する。仕切り等は、考えていない。

Q 細い水道管への対応は。

A 町長 緊急時には、災害等があったときに、多くの人が一時期に集まってくる。町で指定している緊急避難場所の周りに危険な箇所はないか。緊急避難場所に指定されている第1保育所東側の水路にはふたがなく、改善が必要だ。

A 町長 緊急時における避難は、いろいろな面で通常とは違う状況である。想定できる状況を考慮し、安全面について再点検を行い、改善していきたい。緊急避難所までの歩行空間を確保するため、水路のふたを設置するなど、危険箇所を解消するための整備を順次進める。



緊急避難所（第1保育所）東側の溝